

今月号は「成人式特集」。8月14日に開催された成人式典の様子や、ちよっぴり複雑だけど等身大な「ハタチのわたし」をお伝えします。

平成28年度 金山町成人式

今年は69人が成人式を迎え、 社会人の道を歩き出しました！

8月14日、町改善センターで平成28年度金山町成人式典が行われました。今回対象となる成人者数は、男性36名、女性33名の計69名。そのうち式典には54名が出席しました。久方ぶりの旧友との再会に抱き合ったり喜んで、笑顔で近況を報告したり、時には当時の青臭い思い出を話したり…。会場は懐かしさに高揚しつつも、大人としての門出に幾分かキリリとした、そんな成人式特有の雰囲気にも包まれていました。

式典では、新成人の恩師である曾野部敏子先生が「笑顔で卒業していった日が昨日のことのように思い出される。今日も同じく笑顔で皆さんに会えて嬉しい。一人ひとり自分が選んだ場所ですぐ優しく温かく、幸せな人生を築いてほしい」と激励の言葉を話されました。続けて、新成人を代表して成人式実行委員長の大場俊輝さん（山崎）が

「私たちは豊かな自然と人々の温かい優しさに包まれて育った。関わってきた全ての人に感謝。これからは社会を支える一員としての自覚を胸に刻み、自分の生き方に、誇りと責任を持つ。そして金山町を愛し続け、町づくりに貢献していきたい」と決意の言葉を述べました。

引き続き講演では、ヤマガタ未来ラボ編集長の田中麻衣子さんが、地元山形で働くこと、自分の未来を決めるキッカケづくりについて話されました。「山形の仕事がないというのは時代遅れ。働き方は多様化しており、県内にもクールでお洒落な生き方をしている人はたくさんいる」と法人を立ち上げ新規就農した町内の事例等を交えてのわかりやすい講演に皆さん頷きながら聞き入っていました。結びには「お金だけが全てではない。金山には金山特

有の豊かさがある。要は自分が何を大切にするかということ。なりたいた自分をイメージすれば、未来は創れる」と新成人にアドバイスを送りました。

今はそれぞれの場所で頑張っている皆さん。でもこうやってひとたび集まれば、離れていた時間を埋めるかのよう語りあい、笑いあえる仲間がいることを忘れないでください。本式典の開催が、今まで以上に故郷金山町のことを考える契機となったのであれば幸いです。皆さんの未来と金山町が少しでも結びつきますように。

覚えていませんか？ 20年前のこと 1996年のおもな出来事など

- ▽アトランタ・オリンピック開催
- ▽「海の日」施行
- ▽女子高生の間でルーズソックスが流行
- ▽谷口・漆野分校閉校
- ▽ヒット曲…Mr.Children「名もなき詩」、globe「DEPARTURES」
- ▽流行語大賞…「自分で自分をほめたい」（アトランタ・オリンピック女子マラソンで銅メダルを獲得した有森裕子氏）



成人式実行委員長・新成人代表
大場 俊輝 さん



ハタチのわたし

20歳の提言

わたしが考える 金山のミライ

成人式実行委員に
聞きました！



高齢者と若者の両者が
住みやすい町に！

小野小晴さん
おのこはる

現在私は、町内の金融機関で窓口業務をしています。来店されるお客様のの中には、高齢者の方も多くいらっしゃり、「遠くから来るのが大変だ」などという声も聞かれます。少子高齢化が進行している金山町にとって、「高齢者に優しい町づくり」は必要不可欠であると私は考えます。

例えば、役場や金融機関など普段から利用頻度の高い施設はバリアフリー化をするべきです。さらに、高齢者の方が専用で利用できる町内無料循環バスを走らせることも、必要な取り組みと考えます。公的機関等ももちろんですが、町内商店を巡回コースに入れることで、買い物もできるようなすれば、買い物弱者を減らすことにもなるでしょう。人口減少等の理由で、売上が減少傾向にある町内事業所にとってもプラスの効果があると考えられます。

高齢者が元気になることで町全体が活気づき、若者が住みたいと思う町づくりのきっかけとなるかもしれません。高齢者と若者の両者にとって住みやすい町が、私の理想です。



果樹王国金山を目指して！
若者や移住者にも農業を

あおやぎ **青柳なおき** 直希さん

現在私は、県立農林大学校で農業を学んでいます。果樹生産をメインに学ぶにつれて、果樹大岡山形と言いつつ、最上地方では生産者が少ないという現状に気付かされました。この実態を逆手に取り、果樹部門で他の地域よりも良質なものを生産し、差別化を図ることができれば「金山ブランド」を確立でき、町PRの大きな看板となるでしょう。

そのためには人手が必要です。町内の空き家を活用して移住者を呼び込み、夏は農業、冬は除雪作業等に就事してもらおう体制を整えれば、人口減少を食い止めることにも繋がります。一石二鳥以上の効果があると考えます。また、金山の子ども達に小さい頃から「金山の良さ」や「農業の素晴らしさ」を教育することで、移住者だけでなく、金山次世代の農業者を創っていくことになると思います。

難しいことかもしれませんが、以上のことをひとつひとつ実現していけば、金山にいても日本を動かす仕事はできると、私は確信しています。

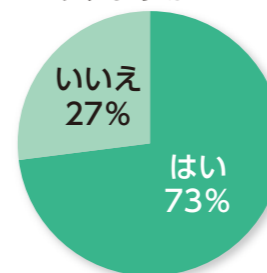
新成人に聞きたい！ あんなことやこんなこと

プライベートなことから真面目なことまで、
新成人の皆さんにいろんな質問をしてみました！

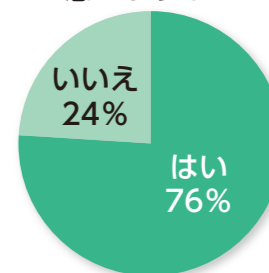
Q1 金山が好きですか？



Q2 金山に定住するつもりはありますか？



Q3 金山で子育てしたいと思いますか？



Q4 皆さんが思う金山の「良いところ」「改善すべきところ」を教えてください。

- A (良いところ) ・自然が豊か・街並みがきれい・人が優しい・安心感がある
(改善すべきところ) ・交通が不便、アクセスが悪い・観光場所が少ない・お店が少ない
・娯楽施設がない・医療設備が充実していない

Q5 こうすれば金山はもっと良くなるということを教えてください。

- A ・子どもが遊べる場所を増やす・大規模な運動公園をつくる
・スーパーマーケットをつくる・教育制度を良くする

Q6 将来の夢を教えてください。

- A ・システムエンジニア・看護師
・保健師・警察官・保育士・調理師
・美容師・教師・公務員・医療事務
・社会に貢献すること・結婚すること

60歳
～40歳先輩～



正野直弥さん

南たくみまさの代表取締役

これからの人生の中で、大切な事は、素直な心と人とのコミュニケーション能力を高めることです。第一印象は3秒で決まると言われています。人とのコミュニケーション能力を高めるには、品性・品格のある挨拶の仕方を年齢問わず学び続けることだと思います。それは一生の宝であり、より良い人生になるための糸口となるはずですよ。

50歳
～30歳先輩～



白岩匠さん

白岩土木建築株式会社代表取締役

新成人の皆さん、大人の世界へようこそ。これからは、将来の自分をイメージし、志を立てて実現する覚悟と責任のある行動が期待されます。また、これまで育ててくださったご家族や地域、そして次世代のために力を発揮することが多くなるでしょう。自分の夢を持ち、チャレンジを続けて欲しいと思います。

40歳
～20歳先輩～



栗田伸一さん

NPO法人なかだ倶楽部理事長

さて、世の中を変える準備は出来たでしょうか？君たちから見たら不満だらけのこの世界。思い描く姿に変えていこうじゃないか。若さや素養だけじゃ足りなかったら、もっと地力を身につけよう。本気で求めれば、欲しいものは何でも手に入るこの世界、不可能なんて無い。ワクワクする世界に変えていこう。

30歳
～10歳先輩～



小野友久さん

肉の山形や

若いうちは色んなことを経験するべきです。私自身、20歳の頃は金山町外に出て初めて金山の「良いところ」や「もっと改善すべきところ」が見えてくるものです。その時に感じたことや学んだことが家業にも活かしています。私も含め、皆さんのような若い世代で金山を盛り上げていきましょう。

地元

で活躍する
先輩方から
新成人へ向けての
メッセージ

～ 成人式から〇十年経って～